

平成28年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年4月22日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ベクター
コード番号 2656 URL <http://www.vector.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長
定時株主総会開催予定日 平成28年6月21日
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・アナリスト向け

(氏名) 梶並 伸博
(氏名) 梶並 京子
有価証券報告書提出予定日 平成28年6月22日
TEL 03-5337-6711

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期の業績(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期	1,555	△13.5	△82	—	△82	—	△89	—
27年3月期	1,797	△16.2	△31	—	△20	—	△29	—

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
28年3月期	△6.47	—	△5.3	△4.1	△5.3
27年3月期	△2.16	—	△1.7	△1.0	△1.7

(参考) 持分法投資損益 28年3月期 ー百万円 27年3月期 ー百万円

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益につきましては、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期	1,954	1,668	85.4	120.33
27年3月期	2,059	1,741	84.4	125.97

(参考) 自己資本 28年3月期 1,668百万円 27年3月期 1,739百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
28年3月期	△79	△229	18	1,381
27年3月期	117	339	1	1,673

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産配 当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 平成29年3月期の配当予想額は、未定であります。

3. 平成29年3月期の業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第1四半期	380	12.9	△68	—	△69	—	△70	—	△5.05

当社は、オンラインゲーム事業が主たる事業となっております。当該事業は、ゲームタイトル毎の顧客数、課金率、課金単価の動向に大きく影響を受けます。また、新規性が高い事業であるため、収益変動要因も多く、現段階では合理的な業績予想数値の算定を行うことが困難であります。そのため、第1四半期から第3四半期までは、翌四半期(累計)の業績予想を開示しております。

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

28年3月期	13,997,000 株	27年3月期	13,933,800 株
28年3月期	127,200 株	27年3月期	127,200 株
28年3月期	13,847,535 株	27年3月期	13,803,963 株

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続きの対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

当社は、平成28年4月22日(金)に機関投資家・アナリスト向けに説明会を開催する予定です。この説明会の資料については、当社ホームページ(<http://ir.vecto.r.co.jp/>)に掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態に関する分析	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	3
2. 経営方針	5
(1) 会社の経営の基本方針	5
(2) 目標とする経営指標	5
(3) 中長期的な会社の経営戦略	5
(4) 会社の対処すべき課題	5
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
4. 財務諸表	6
(1) 貸借対照表	6
(2) 損益計算書	8
(3) 株主資本等変動計算書	9
(4) キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(持分法損益等)	15
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績・財政状態に関する分析

(1) 経営成績に関する分析

当事業年度(平成27年4月1日～平成28年3月31日)のわが国経済は、原油安・円安、日銀の経済・金融政策の効果により企業業績や雇用情勢は堅調に推移しましたが、国内個人消費の停滞や海外経済の影響を受け、景気は概ね横ばいの状況が継続しております。

当社の事業領域であるオンラインゲーム業界は、平成23年から急速に普及してきたスマホ向けゲームの影響により業界規模は拡大しております。スマホ向けゲームについては、今後も普及は進むものの、成長の伸び率が鈍化すると予測されています。また、ゲーム業界はトレンドの変化が早く、加えてスマホ向けゲームは参入企業も多いため厳しい競争環境となっております。

ソフトウェア販売を取り巻く環境としましては、Windows XP機入れ替え特需の反動に加え、円安による部品代等の原価上昇がパソコン本体価格の値上げにつながり、国内パソコン市場の総出荷台数は前年比で大幅に減少しております。特にWindows XP入れ替え特需が多く発生した法人向けで反動減が顕著となっております。ただし、法人需要の落ち込みは徐々に縮小し、一旦下げ止まった後、緩やかに回復していくと予測されています。

このような環境のもと、オンラインゲーム事業につきましては、パソコン向けブラウザゲームの新規タイトルを複数リリースしたことにより一定の営業収益を確保することはできましたが、前事業年度を下回る結果となりました。

ソフトウェア販売事業につきましては、Windows XP機入れ替え特需の反動減と、個人消費者向けパソコン市場の縮小による影響により、営業収益は前事業年度を下回る結果となりました。

営業費用につきましては、最適化・効率化により大幅に削減しており、営業損失の圧縮に寄与しております。

以上の結果、当事業年度の営業収益は15億55百万円(前事業年度比13.5%減)、営業損失は82百万円(前事業年度は31百万円の営業損失)、経常損失82百万円(前事業年度は20百万円の経常損失)となりました。

また、新株予約権戻入益の特別利益1百万円、減損損失等の特別損失7百万円、法人税等の2百万円をそれぞれ計上し、当期純損失は89百万円(前事業年度は29百万円の当期純損失)となりました。

当事業年度のセグメント別販売実績については、以下のとおりであります。

(単位：千円、%)

	平成28年3月期		
	金額	前年同期比	構成比
オンラインゲーム事業	1,076,186	△12.9	69.2
ソフトウェア販売事業	384,666	△16.1	24.7
サイト広告販売事業	76,780	△23.3	5.0
その他	17,807	590.1	1.1
合計	1,555,441	△13.5	100.0

オンラインゲーム事業

当事業年度におけるオンラインゲーム事業の販売金額は、10億76百万円(前事業年度比12.9%減)となりました。

従来型のオンラインゲーム(クライアントソフトをパソコンにダウンロードするもの)は、前期から継続しているタイトルから平成27年6月に「BOUNDRA」、7月に「エターナル・アトラス -The Refined FNO」のサービスを終了し、当社が運営するゲームポータル「VectorGame」において平成28年1月に「星界神話」のチャネリングサービスを開始したことにより、当事業年度末時点では5タイトルの運営となっております。

ブラウザゲーム(パソコンのブラウザ上で起動するダウンロード不要のオンラインゲーム)は、前期から継続しているタイトルから平成27年7月に「神創詩篇ミッドガルド・サーガ」「創星紀アステルゲート」、12月に「ドラゴンクルセイド2」のサービスを終了し、平成27年6月に「魔戦カルヴァ」、9月に「ヴェルストライズ」、12月に「ドラゴニックエイジ」「ヘクサウォーズ」のサービスを開始いたしました。加えて、当社が運営するゲームポータル「VectorGame」において3タイトルのチャネリングサービスを開始したことにより、当事業年度末時点では15タイトルの運営となっております。

スマートフォンゲームは、当事業年度末時点では2タイトル(「アルカナ・マジア」、「だいすきナンプレ!」)の運営となっております。

ソフトウェア販売事業

当事業年度におけるソフトウェア販売事業の販売金額は、3億84百万円(前事業年度比16.1%減)となりました。

ソフトウェアのダウンロード販売事業は、Windows XP機入れ替え特需の反動による減少と個人消費者向けのパソコン市場の縮小や有料パソコンソフトに対する需要の減少傾向は継続しております。

サイト広告販売事業

当事業年度におけるサイト広告販売事業の販売金額は、76百万円(前事業年度比23.3%減)となりました。

キーワード広告(リスティング広告)については当該事業の約8割強を占め、サイト広告販売事業の基幹となっております。

その他

当事業年度におけるその他の販売金額は、17百万円(前事業年度比590.1%増)となりました。その他の販売金額には、ゲーム以外のスマートフォン向けサービスの販売金額が含まれております。

(次期の見通し)

当社は、オンラインゲーム事業が主たる事業となっております。当該事業の業績は、ゲームタイトル毎の顧客数、課金率、課金単価の動向に大きく影響を受けます。また、新規性が高い事業であるため、収益変動要因も多く、現段階では合理的な業績予想数値の算定を行うことが困難であります。そのため、第1四半期から第3四半期までは翌四半期(累計)の予想を開示し、次期(通期)の業績予想及び配当予想は開示しておりません。

投資家の皆様の投資判断に資する情報は、実績を分析した上で適時提供することに努めてまいります。

(2) 財政状態に関する分析

① 財政状況の変動状況

当事業年度末における資産合計は、前事業年度末に比べ1億5百万円減少して19億54百万円となりました。また、当事業年度末の負債合計は、前事業年度末に比べ33百万円減少して2億85百万円となり、純資産合計は前事業年度末に比べ72百万円減少して16億68百万円となりました。

(資産)

当事業年度における流動資産減少の主な要因は、前事業年度末より有価証券が1億円、その他が23百万円増加したものの、現金及び預金が2億91百万円、売掛金が2百万円減少したこと等によるものです。

当事業年度における固定資産増加の主な要因は、減価償却の計上により、前事業年度末より有形固定資産が3百万円減少したものの、無形固定資産が70百万円増加したこと等によるものです。

(負債)

当事業年度における負債減少の主な要因は、前事業年度末より固定負債が3百万円増加しましたが、流動負債が36百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当事業年度における純資産減少の主な要因は、当期純損失89百万円の計上によるものです。

なお、当事業年度末における負債合計の負債純資産合計に占める割合は、前事業年度末の15.5%から14.6%に低下し、自己資本比率は、前事業年度末の84.4%から85.4%に上昇しました。

②キャッシュ・フローの状況

当事業年度末における現金及び現金同等物の残高は、期首残高の16億73百万円から2億91百万円減少し、13億81百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度の営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前当期純損失87百万円、減価償却費48百万円の計上に加え、未収又は未払消費税等が38百万円減少したことなどにより、79百万円の支出（前事業年度は1億17百万円の収入）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度の投資活動によるキャッシュ・フローは、無形固定資産の取得による1億29百万円の支出、有価証券の取得による1億円の支出などにより、2億29百万円の支出（前事業年度は3億39百万円の収入）となりました。

この結果、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローを合わせた純現金収支は、3億9百万円の赤字（支出超過）となり、現金及び現金同等物残高の減少要因となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、新株予約権の行使に伴う株式の発行により、18百万円の収入となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成24年3期	平成25年3月期	平成26年3月期	平成27年3月期	平成28年3月期
自己資本比率(%)	79.3	84.1	84.6	84.4	85.4
時価ベースの自己資本比率(%)	169.3	317.1	338.6	446.4	244.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)	—	—	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	—	—	—	—	—

2. 経営方針

(1) 会社の経営の基本方針

インターネット通信環境の改善とともに、インターネットでモノやサービスをやりとりする幅広いビジネスの展開が可能になってまいりました。当社は、インターネットのもつ利便性、可能性、社会性を常に認識しており、利用者へのサービス提供の多様化を図ることを念頭に置き、ビジネスモデルのリニューアルに努めてまいります。

(2) 目標とする経営指標

当社は、経営指標として株主資本当期純利益率（ROE）10%台の堅持を目標にして、経営成績の向上、経営効率の改善に取り組み、株主価値の極大化に努めてまいります。

(3) 中長期的な会社の経営戦略

当社は、平成元年の創業時はCD-ROM付き書籍の出版事業でスタートし、平成7年にパソコンソフトのオンライン流通事業に進出しました。その後、平成18年にオンラインゲーム事業に進出しました。これを「第三の創業」と位置付けると共に中長期的観点からオンラインゲーム事業を経営の柱として育てていく方針であります。

(4) 会社の対処すべき課題

当社はインターネットを通じて多くの人々の生活が「より便利に、より楽しく」なるサービスを創造することをモットーに経営を展開しております。

当社は従来、パソコンソフトのダウンロード販売を中心としたインターネット販売事業を手がけてまいりましたが、現在は最重要戦略事業として、オンラインゲーム事業を経営の新たな柱と位置付け積極的な事業展開を行っております。このため、昨今のスマートフォンの急速な普及を視野に入れながら、オリジナルタイトル中心に戦略をシフトし、さらなる飛躍を目指すことといたしますが、なによりも魅力的な新規タイトルを積極的に投入することが業績向上を図るうえで、喫緊の課題であると認識しております。

当社では、インターネットビジネスが当社のコアコンピタンスであるとの認識のもと、ヒト、モノ、カネ、情報などからなるすべての経営資源を最大限に活用して収益機会の多様化を図り、企業価値の向上を通じて、株主の皆様の期待に応えるべく努力してまいります。

3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国際的な事業展開や資金調達を行っておりませんので、国内でのIFRSの採用動向を検討した結果、当面は日本基準に基づき財務諸表を作成する方針です。

4. 財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当事業年度 (平成28年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,642,863	1,350,944
売掛金	207,394	205,364
有価証券	30,371	130,384
前払費用	19,222	18,602
その他	28,400	51,642
流動資産合計	1,928,253	1,756,938
固定資産		
有形固定資産		
建物	8,940	8,940
減価償却累計額	△6,907	△7,226
建物(純額)	2,033	1,714
車両運搬具	2,826	2,826
減価償却累計額	△2,713	△2,741
車両運搬具(純額)	113	84
工具、器具及び備品	147,990	147,990
減価償却累計額及び減損損失累計額	△138,577	△142,122
工具、器具及び備品(純額)	9,412	5,867
有形固定資産合計	11,559	7,667
無形固定資産		
ソフトウェア	49,619	51,670
ソフトウェア仮勘定	29,796	98,482
その他	328	328
無形固定資産合計	79,745	150,481
投資その他の資産		
投資有価証券	9,523	9,196
長期前払費用	639	510
敷金	30,139	29,401
投資その他の資産合計	40,301	39,108
固定資産合計	131,606	197,257
資産合計	2,059,859	1,954,196

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当事業年度 (平成28年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	96,133	85,907
未払金	66,237	59,578
未払費用	11,491	11,740
未払法人税等	5,803	5,871
前受金	14,971	10,764
預り金	37,513	32,625
賞与引当金	26,174	26,568
その他	29,897	18,528
流動負債合計	288,222	251,583
固定負債		
退職給付引当金	27,857	31,537
繰延税金負債	2,380	2,154
固定負債合計	30,238	33,691
負債合計	318,461	285,274
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,007,526	1,017,210
資本剰余金		
資本準備金	346,524	356,208
その他資本剰余金	1,050,000	1,050,000
資本剰余金合計	1,396,524	1,406,208
利益剰余金		
利益準備金	750	750
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△575,569	△665,197
利益剰余金合計	△574,819	△664,447
自己株式	△94,952	△94,952
株主資本合計	1,734,279	1,664,019
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,981	4,881
評価・換算差額等合計	4,981	4,881
新株予約権	2,136	20
純資産合計	1,741,397	1,668,921
負債純資産合計	2,059,859	1,954,196

(2) 損益計算書

	(単位：千円)	
	前事業年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)	当事業年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)
営業収益		
売上高	1,797,189	1,555,441
営業収益合計	1,797,189	1,555,441
営業費用		
ソフトウェア販売原価	321,754	268,598
オンラインゲームロイヤリティ	295,954	235,702
支払手数料	313,257	280,352
広告宣伝費	82,692	145,486
給料手当及び賞与	378,950	345,331
賞与引当金繰入額	24,735	24,782
通信費	74,660	70,566
減価償却費	106,450	48,192
その他	229,810	219,147
営業費用合計	1,828,265	1,638,161
営業損失(△)	△31,075	△82,720
営業外収益		
受取利息	5	3
有価証券利息	1,751	854
受取配当金	85	170
為替差益	5,561	-
受取手数料	808	701
営業外決済金	2,643	-
その他	228	8
営業外収益合計	11,085	1,736
営業外費用		
株式交付費	120	866
為替差損	-	157
コンテンツ開発解約損	345	-
その他	9	7
営業外費用合計	474	1,031
経常損失(△)	△20,465	△82,015
特別利益		
新株予約権戻入益	-	1,726
固定資産売却益	345	-
投資有価証券売却益	15,484	-
特別利益合計	15,829	1,726
特別損失		
固定資産除却損	2,021	-
減損損失	20,835	7,050
特別損失合計	22,857	7,050
税引前当期純損失(△)	△27,493	△87,338
法人税、住民税及び事業税	2,290	2,290
法人税等調整額	-	-
法人税等合計	2,290	2,290
当期純損失(△)	△29,783	△89,628

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	1,006,726	345,724	1,050,000	1,395,724	750	△545,785	△545,035
当期変動額							
新株の発行(新株予約権の行使)	800	800	—	800	—	—	—
当期純損失(△)	—	—	—	—	—	△29,783	△29,783
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	—	—	—	—	—
当期変動額合計	800	800	—	800	—	△29,783	△29,783
当期末残高	1,007,526	346,524	1,050,000	1,396,524	750	△575,569	△574,819

	株主資本		評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計		
当期首残高	△94,952	1,762,462	6,273	6,273	2,446	1,771,182
当期変動額						
新株の発行(新株予約権の行使)	—	1,600	—	—	—	1,600
当期純損失(△)	—	△29,783	—	—	—	△29,783
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	△1,292	△1,292	△309	△1,602
当期変動額合計	—	△28,182	△1,292	△1,292	△309	△29,784
当期末残高	△94,952	1,734,279	4,981	4,981	2,136	1,741,397

当事業年度(自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	1,007,526	346,524	1,050,000	1,396,524	750	△575,569	△574,819
当期変動額							
新株の発行(新株予約権の行使)	9,684	9,684	-	9,684	-	-	-
当期純損失(△)	-	-	-	-	-	△89,628	△89,628
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	-	-	-	-	-	-	-
当期変動額合計	9,684	9,684	-	9,684	-	△89,628	△89,628
当期末残高	1,017,210	356,208	1,050,000	1,406,208	750	△665,197	664,447

	株主資本		評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計		
当期首残高	△94,952	1,734,279	4,981	4,981	2,136	1,741,397
当期変動額						
新株の発行(新株予約権の行使)	-	19,368	-	-	-	19,368
当期純損失(△)	-	△89,628	-	-	-	△89,628
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	-	-	△99	△99	△2,115	△2,215
当期変動額合計	-	△70,260	△99	△99	△2,115	△72,476
当期末残高	△94,952	1,664,019	4,881	4,881	20	1,668,921

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)	当事業年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純損失(△)	△27,493	△87,338
減価償却費	106,450	48,192
減損損失	20,835	7,050
退職給付引当金の増減額(△は減少)	3,085	3,679
賞与引当金の増減額(△は減少)	△753	393
受取利息及び受取配当金	△1,842	△1,027
新株予約権戻入益	-	△1,726
固定資産除却損	2,021	-
固定資産売却損益(△は益)	△345	-
投資有価証券売却損益(△は益)	△15,484	-
為替差損益(△は益)	△3,429	1,078
売上債権の増減額(△は増加)	33,120	4,670
仕入債務の増減額(△は減少)	△17,341	△10,226
預り金の増減額(△は減少)	△11,028	△4,888
未払又は未収消費税等の増減額	24,834	△38,037
その他	4,265	△529
小計	116,894	△78,709
利息及び配当金の受取額	2,838	720
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,795	△1,903
営業活動によるキャッシュ・フロー	117,937	△79,892
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	-	△100,000
有価証券の売却による収入	400,000	-
投資有価証券の売却による収入	21,866	-
有形固定資産の売却による収入	-	369
無形固定資産の取得による支出	△93,117	△129,813
長期前払費用の取得による支出	-	△469
敷金の回収による収入	10,712	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	339,461	△229,914
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	1,224	18,979
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,224	18,979
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,429	△1,078
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	462,053	△291,905
現金及び現金同等物の期首残高	1,211,182	1,673,235
現金及び現金同等物の期末残高	1,673,235	1,381,329

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は本社に事業別の部署を置き、各部署は取扱う事業サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しており、オンラインゲーム事業、ソフトウェア販売事業、サイト広告販売事業の3つを報告セグメントとしております。

なお、オンラインゲーム事業は、オンラインゲームの企画・運営・配信業務を行っております。ソフトウェア販売事業は、ソフトダウンロード販売(プロレジ・サービス、シェアレジ・サービス)、ソフトハウス向けダウンロード販売総合支援サービス業務などを行っております。サイト広告販売事業は、Web広告販売、メール広告販売業務などを行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「重要な会計方針」における記載と概ね同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

なお、セグメント間の内部売上高及び振替高はありません。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前事業年度(自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	合計
	オンライン ゲーム事業	ソフトウエ ア販売事業	サイト広告 販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,236,139	458,315	100,153	1,794,609	2,580	1,797,189
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,236,139	458,315	100,153	1,794,609	2,580	1,797,189
セグメント利益又は セグメント損失(△)	23,873	△8,195	64,079	79,758	△10,224	69,533
セグメント資産	265,524	52,248	11,514	329,287	7,184	336,472
その他の項目						
減価償却費	98,425	1,504	397	100,328	3,508	103,836
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	88,292	—	—	88,292	3,819	92,112

(注) その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、ゲーム以外のスマートフォン向けサービスを含んでおります。

当事業年度(自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	合計
	オンライン ゲーム事業	ソフトウエ ア販売事業	サイト広告 販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,076,186	384,666	76,780	1,537,633	17,807	1,555,441
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,076,186	384,666	76,780	1,537,633	17,807	1,555,441
セグメント利益又は セグメント損失(△)	50,966	3,214	20,071	74,252	△96,288	△22,036
セグメント資産	353,737	43,869	9,375	406,983	8,919	415,902
その他の項目						
減価償却費	36,887	499	283	37,670	7,432	45,102
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	123,621	—	—	123,621	4,369	127,991

(注) その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、ゲーム以外のスマートフォン向けサービスを含んでおります。

4. 報告セグメント合計額と財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	前事業年度	当事業年度
報告セグメント計	1,794,609	1,537,633
「その他」の区分の売上高	2,580	17,807
セグメント間取引消去	—	—
財務諸表の売上高	1,797,189	1,555,441

(単位:千円)

利益	前事業年度	当事業年度
報告セグメント計	79,758	74,252
「その他」の区分の損失(△)	△10,224	△96,288
セグメント間取引消去	—	—
全社費用(注)	△100,609	△60,684
財務諸表の営業損失(△)	△31,075	△82,720

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない新規事業に係る開発関連費及び管理部門に係る費用であります。

(単位:千円)

資産	前事業年度	当事業年度
報告セグメント計	329,287	406,983
「その他」の区分の資産	7,184	8,919
全社資産(注)	1,723,386	1,538,293
その他の調整額	—	—
財務諸表の資産合計	2,059,859	1,954,196

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない余裕運用資金(現金及び預金等)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。

(単位:千円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		財務諸表計上額	
	前事業年度	当事業年度	前事業年度	当事業年度	前事業年度	当事業年度	前事業年度	当事業年度
減価償却費	100,328	37,670	3,508	7,432	2,614	3,089	106,450	48,192
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	88,292	123,621	3,819	4,369	6,017	—	98,130	127,991

(注) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない新規事業に係る設備投資額であります。

5. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、一定の費用につき各報告セグメントへの貢献割合の変化により、当該費用の各報告セグメントへの配賦率を必要に応じて見直しており、当第1四半期から配賦率の変更を行っております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当事業年度の「ソフトウェア販売事業」のセグメント利益が23,597千円増加し、「サイト広告販売事業」のセグメント利益が23,597千円減少しております。

【関連情報】

前事業年度(平成27年3月31日)及び当事業年度(平成28年3月31日)

1. サービスごとの情報

セグメント情報の中に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦における売上高が90%を超えているため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載事項はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前事業年度(自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	オンライン ゲーム事業	ソフトウェ ア販売事業	サイト広告 販売事業	計			
減損損失	20,835	—	—	20,835	—	—	20,835

当事業年度(自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	オンライン ゲーム事業	ソフトウェ ア販売事業	サイト広告 販売事業	計			
減損損失	7,050	—	—	7,050	—	—	7,050

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前事業年度(自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前事業年度(自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)	当事業年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)
1株当たり純資産額	125.97円	120.33円
1株当たり当期純損失金額	△2.16円	△6.47円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	—	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)	当事業年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)
当期純損失(千円)	△29,783	△89,628
普通株式に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純損失(千円)	△29,783	△89,628
普通株式の期中平均株式数(株)	13,803,963	13,847,535

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当事業年度 (平成28年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	1,741,397	1,668,921
純資産の部の合計から控除する金額(千円)	2,136	20
(うち、新株予約権(千円))	(2,136)	(20)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	1,739,261	1,668,900
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数(株)	13,806,600	13,869,800

(重要な後発事象)

該当事項はありません。